Meltec
Mechanical electrotechnics

F-56

生産物賠償責任（PL）保険付

エアーコンプレッサー
空気圧で燃費は変わる!

12V バッテリー専用　最高圧力 500 kPa

取扱説明書

この度は、「エアーコンプレッサーF-56」を
お求めいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は、「エアーコンプレッサーF-56」を
ご使用いただくためのガイドブックです。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を理解
された上で正しくご使用くださいますようお願い致します。
また、常にこの「取扱説明書」をお手元に置かれて
作業されることをお勧め致します。

安全に関するご注意

本製品を正しく安全にご使用いただくために、安全に関する注意事項をよくお読みになり、理解されるまで作業を行わないでください。

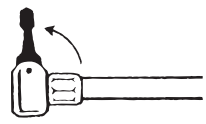
⚠ 誤った使用や解体・改造による事故・故障等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
⚠ 必要以上に空気を入れないでください。
場合によっては破裂・パンクの原因となり事故やケガの原因となります。
⚠ エンジンをかけた状態で使用するため、閉鎖された車庫内・深夜での使用はやめてください。
排気ガスによる中毒、周囲への迷惑となります。
⚠ 使用中・使用後は、高温になりますので特にエアーホース付け根部分は触らないでください。
ヤケドやケガの原因となります。
⚠ 小さなお子様を、使用場所に近づけないでください。
⚠ 連続での運転は10分以内とし、続けて使用する場合は5分以上冷却後使用してください。
本製品の加熱・オーバーヒートの原因となります。
⚠ クリップをバッテリー端子に接続する際、⊕⊖を確認してください。ショートによる火災の原因となります。
⚠ エンジンをかけた状態でご使用ください。バッテリー上がりの原因となります。
⚠ 本製品使用中は離れないでください。
⚠ 空気の補充や充填以外での使用はしないでください。
業務用・医療に準ずる事には使用できません。
⚠ 本製品使用中、回転がさがったり異音がした場合は使用を中止してください。
⚠ 正確な空気圧は必ずタイヤゲージ等で測定してください。圧力計はあくまで目安です。
⚠ 砂地、ホコリ等の多い場所では使用しないでください。本製品内部に入り、故障の原因になります。

ご使用に関するご注意

ご使用中は、本製品から離れないでください。

①電源はDC12V（自動車用バッテリー）専用です。
②使用中コンプレッサーの回転がさがったり又は、本体を触って熱い場合は、長時間使用などが原因ですでにオーバーヒートしています。
このような時には、ただちに使用を中止し、1時間以上冷却させてからご使用ください。
③エアー・ホーン用エアータンクには使用できません。
④梱包の問題上DCコードは束ねてありますが、ご使用の際は必ずほどいた状態でバッテリー端子に接続してください。（焼損の恐れがあり、火災の原因になります。）

注意　コンプレッサーを使用されない時は、ホース先端のロックバルブレバーはいつも立てた状態にしておいてください。



この表は、各例示の参考の目安です。正確な圧力は、入れる物の体積によって異なる事があります。

	平均膨張圧力
自動車タイヤ	タイヤの規格に合わせてください。
自転車	500kPa ※タイヤの種類により適正値まで入らない場合があります。
フットボール	90kPa
バスケットボール	70kPa
バレーボール	40kPa

ご使用中は、絶対に本製品から離れないでください。

※ボール等の空気注入は、多少時間がかかりますのでエアーポンプ等を併用してください。

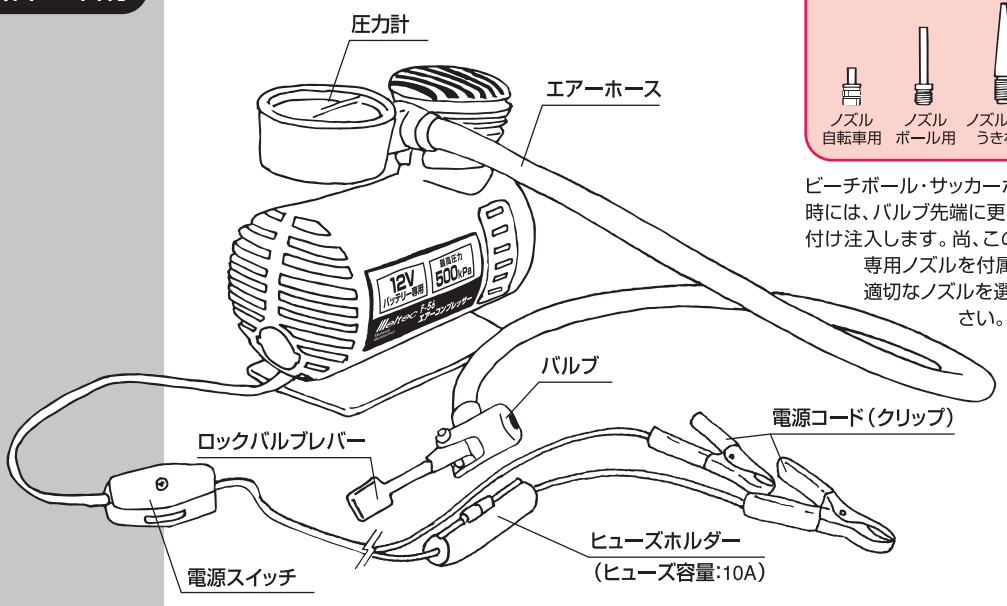
使用目的

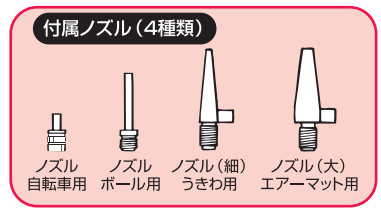
エアーコンプレッサーF-56は、お車の電源DC12Vを利用して車やオートバイ、自転車のタイヤの圧力低下時のエアー補充や、バスケットボールやバレーボール等のエアー注入に使用できます。

特　長

●バッテリーに接続するだけでご使用いただけます。
●自動車・オートバイ・自転車・ゴムボート等、空気の補充に。4種類のノズルを付属。　●圧力計付

各部の名称





ビーチボール・サッカーボール等に注入する時には、バルブ先端に更に専用ノズルを取り付け注入します。尚、この商品には4種類の専用ノズルを付属しておりますので、適切なノズルを選び正しくご使用ください。

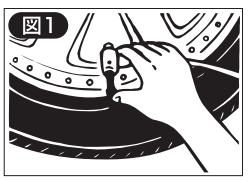
主な仕様

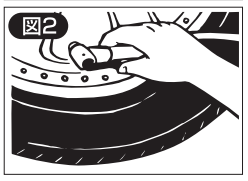
名　称	エアーコンプレッサー	連続使用	10分まで
型　式	F-56	エアー圧力	MAX 500kPa
入力電圧	DC12V（クリップ付コード長さ約4.5m）	商品サイズ	142（W）×120（H）×72（D）mm
動力電流	MAX 10A	エアーホースの長さ	約760mm
コードの長さ	約4.5m	重量	約660g

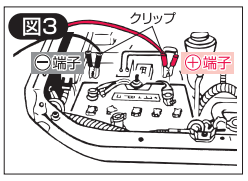
ご使用方法

●自動車に使用の場合

①ホース先端バルブを(図1)のように自動車の空気バルブに奥まで差し込んで、タイヤ内の空気がシューと漏れる音が聞こえたらロックバルブレバーを（図2）のように充分に倒してください。
②束ねていない状態のコードにてクリップを⊕と⊖をまちがえず確実にバッテリー端子に接続してください。（図3）
接続できているか確認した上でエンジンを始動（スタート）させてください。
③コンプレッサーの電源スイッチをONにします。
④電源スイッチを切り、空気圧を計測してください。
タイヤの規格に合った気圧に圧力計の針がさしたら、一度電源スイッチを切り正確に目盛りを読んでください。そしてもう一度、正確なタイヤゲージなどで測り直してください。いつも正確な空気圧を得るには、スイッチを切り針が静止してから計測してください。
⑤タイヤの規格に合った気圧に圧力計の針がさしたら電源スイッチを切り、クリップをバッテリー端子から外してください。

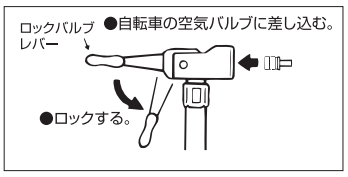






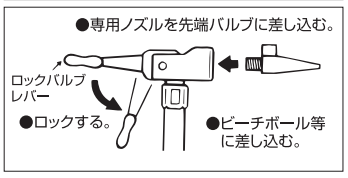
●自転車の場合

①ホース先端バルブに自転車の専用ノズルをセットし、ロックバルブレバーを倒します。
②自動車の②③④⑤と同じ手順で操作してください。
③ご希望の空気圧を入れてください。



●その他の場合（ボール等）

①目的物のバルブに応じた付属ノズルを選んでください。
②ホース先端バルブにその付属ノズルをセットし、ロックバルブレバーを倒します。
③自動車の②③④⑤と同じ手順で操作してください。
④ご希望の空気圧を入れてください。



※うきわやビーチボール等の空気注入は、多少時間がかかりますのでエアーポンプ等を併用してください。

空気圧換算表

約98kPa(キロパスカル)＝1kgf/cm²

約176kPa（1.8kgf/cm²）	約235kPa（2.4kgf/cm²）
約196kPa（2.0kgf/cm²）	約255kPa（2.6kgf/cm²）
約216kPa（2.2kgf/cm²）	約274kPa（2.8kgf/cm²）

おかしいなと思ったら

本製品が作動しない時は、以下の点をお調べください。

症　状	調べるポイント	対処方法
●コンプレッサーが作動しない。	①電源コードのクリップの接続。 ②車のバッテリー端子の汚れや接触不良。 ③電源コードのヒューズ切れ。 ④電源スイッチ	①クリップをしっかりと車のバッテリー端子に接続。 ②汚れている場合には、よく掃除し、クリップを確実にはさむ。 ③ヒューズが切れているか調べて、切れていれば交換する。 ④電源スイッチを入れ直す。
●コンプレッサーの電源は入るが空気が入らない。	①空気を入れる対象物との接続。 ②対象物の空気もれ。 ③ホースの損傷。	①バルブ又はノズルをしっかり対象物の空気注入口に差し込んでからロックバルブレバーを倒す。 ②空気のもれている部分を捜して修理する。 ③ホースに亀裂が入っていたりして、そこから空気がもれていないか調べて、あれば修理する。
●コンプレッサーの運転がゆっくりで圧力も低い。	①オーバーヒート。 ②バッテリーの電圧。	①電源を切って1時間以上休ませる。 ②車のエンジンをかける。

Meltec 大自工業株式会社

営業本部　〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072-976-0101（代）/ FAX.072-976-0105

東京支店　〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-102
TEL.03-3590-6105/ FAX.03-3590-0478

●http://www.daiji.co.jp/　●Eメール:info@daiji.co.jp

※本製品の仕様及びカラーは改良の為、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
※本製品は日本で企画・開発し、中国で製造しています。

MADE IN CHINA

2013.06